

News & Information

ソニー教育財団「ソニー幼児教育支援プログラム」
全国 146 園の幼稚園・保育所・認定こども園より選ばれた最優秀園

研究成果を発表する「最優秀園実践発表会」開催

6月29日(土) 山梨学院幼稚園(山梨県)

公開保育・研究発表などを通じ、保育関係者に向けて主題「科学する心を育てる」保育実践を公開

記念講演: 聖心女子大学 教授 河邊 貴子 氏

後 援: 文部科学省、厚生労働省 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2018 年度に「ソニー幼児教育支援プログラム」で「最優秀園」に選ばれた学校法人山梨学院 山梨学院幼稚園(山梨県、園長: 山内 淳子)で、「最優秀園実践発表会」を開催いたします。

「ソニー幼児教育支援プログラム」は、乳幼児期の教育に関する研究を推進したソニー創業者 井深 大の考えを受け継ぎ、2002 年から続けている教育助成です。「科学する心を育てる」を主題に、3 歳から 5 歳児の保育実践とその考察に基づく今後の方向性を募集しています。2018 年度は、過去最多の 146 園よりご応募いただきました。



今回、「実践発表会」を行う 山梨学院幼稚園 は、本プログラムの審査委員長である小泉 英明氏(株式会社日立製作所 名誉フェロー)ら 5 氏による審査や、現地調査を経て、「最優秀園」を受賞しました。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育む取り組みや成果について、公開保育や研究発表などを通じ、保育者や小・中学校の先生方、保育を学ぶ学生を中心とする保育・教育関係者の皆さまにご紹介いたします。

最優秀園実践発表会(公開保育・研究発表) 開催概要

学校法人山梨学院 山梨学院幼稚園 (山梨県)

研究主題: 子どもの数だけ「科学する心」の入り口がある

開催日時: 2019年 6月 29日(土) 9:30~16:30 予定

会場: 公開保育 山梨学院幼稚園 甲府市酒折 2丁目 8-1 TEL: 055-224-1390
研究協議 山梨学院短期大学 サザンタワー 甲府市酒折 2丁目 4-5
研究発表・記念講演 山梨学院 メモリアルホール 甲府市酒折 2丁目 4-5

時程: 【受 付】 9:30
【公開保育】 10:00~11:15
【開会式・研究発表】 11:30~12:30
【研究協議】 13:30~14:30
【記念講演】 14:50~16:20

記念講演: 聖心女子大学 教授 河邊 貴子 氏

参加費: 無料

※ 開催についての詳細は、ホームページに掲載の「二次案内」をご覧ください。

http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2019_yamanashi_2nd.pdf

※ 山梨学院幼稚園の「最優秀園論文」の全文はホームページでお読みいただけます。

http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018_pre_yamanashig.pdf

「ソニー幼児教育支援プログラム」2018年度 最優秀園 論文

学校法人山梨学院 山梨学院幼稚園(山梨県)

論文テーマ: お米づくりから広がる子どもたちの世界

論文全文 (http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018_pre_yamanashig.pdf)

【審査委員による講評(抜粋)】

山梨学院幼稚園は、長年にわたり「科学する心」をテーマに研究を続けられ、論文においては、7年連続で入選されています。最優秀に輝いた本論文では、「お米づくりから広がる子どもたちの世界」をサブテーマとし、土作りから苗植え、脱穀、餅つきや米糠での染色までの、発見や探究を重ねた米作りに関する1年間の活動に注目しました。保育者も初心者であり、地域の施設や専門家、学校や保護者との連携を通して協働的な探究を進め、米作りに関する活動を深耕させました。古代米にも挑戦し、「“古代”へと興味が広がり、質の違う多様な体験に繋がった」という過程は、他園の参考となる独創性のある実践です。

日々の保育を丁寧に振り返って、子どもたち一人一人の「興味や好きなことを“入り口”にした」ことから、子どもたち自らが探究を深めていった実態を把握することができました。さらに、興味を支える環境の工夫は、子どもたちが古代の生活や道具、生き物など様々な興味を広げ、ダイナミックな発展性への原動力となっています。

■ ソニー幼児教育支援プログラムとは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある保育実践と今後の方向性をまとめた論文を募集し、その実現のための支援を行っています。全国の幼稚園・保育所・認定こども園より、毎年100園以上ものご応募をいただいています。

審査委員長の小泉英明氏(株式会社日立製作所 名誉フェロー)をはじめとする各界の有識者により、予備審査、中間審査を経て、入選候補園に関しては現地調査も行います。

入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び、毎年『実践事例集』(冊子)を発行。さまざまな実践事例をホームページから検索することもでき、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

ソニー幼児教育支援プログラム: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/preschool.html>

幼児教育 保育実践事例サイト: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>

■ ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。60年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、「自然に学ぶ」をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉—子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト』など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>